

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	大竹市立大竹中学校	校長	十亀 琢磨	生徒指導主事	井手 正典
取組事例名	『掃除リーダー研修』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
生徒たちは、日頃から真面目に掃除に取り組んでおり、「掃除を頑張っている」と肯定的に答えた生徒も 92.9%いる。しかし、年々教員や生徒が入れ替わるにつれて、掃除のやり方や自己評価の基準が変わっているため、大竹中学校のやり方等を作成し、周知徹底する。	「時を守り」「場を清め」「礼を正す」礼節のある態度で社会に参画することができる生徒 自分たちが活動する場に感謝の気持ちを持ち、きれいに保つといった使命感を育てるとともに、学校の一員としての自覚と責任と協調性を育てる。



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
○美化委員会でビデオ視聴及び掃除の手順について考えさせる ・企業が提案する「学校掃除手順」のビデオを視聴  ○美化担当教員と美化委員長で「大竹中の掃除の手順」を作成し、2年生の掃除リーダーと教員が参加した「掃除リーダー講習」開催  ・掃除の手順を配布し、リーダーに実際に掃除をさせ、残りの全員で様子を観察し、どのような掃除が自分たちの掃除場所にふさわしいか考えさせる。  ○各掃除場所のメンバーに掃除の仕方を伝え、実行させる。	生徒にめあてをもたせるために 自分たちでは掃除を頑張っていると思っている生徒が多い中、どのような掃除をすれば大竹中学校の伝統「やり切り清掃」を引き継いでいけるかを考えさせる。 生徒の意欲を高めるために 掃除リーダーに対して、効果的な掃除の方法やリーダーシップの取り方を指導することで、学校全体の掃除の質を向上させる。また、自分の担当場所が学校で一番掃除の行き届いた場所になるように頑張らせる。 生徒の頑張りを認め、価値付けるために 日々の掃除の後の反省で、リーダーから評価を言わせるだけでなく、掃除担当の教員からも、「掃除の手順」「取り組む姿勢」などを評価して伝える。 教室掃除に関しては、担任の教員が掃除リーダーに評価を伝える。



3 成果と課題

まだ、取組を始めて日が浅く、アンケート等をとれていないが、掃除を見回ると明らかに以前よりもしっかり掃除に取り組む姿が見受けられた。掃除リーダーに変わった今がチャンスなので、来年度の前期の生徒アンケートが目標値を超えるように、継続的に指導したい。また、新年度は、新しく赴任してきた教員への研修につなげたい。	
---	---